

旅

北町高齢者センター
張 黎明 (チョウレイメイ)



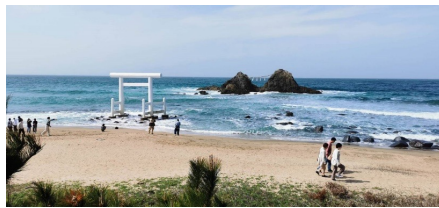
熊本城

先月、私は家族と九州は福岡を中心に熊本県、山口県へ旅行に行きました。福岡ではヒルトンホテルに泊まり、高層階から眺める景色は絶景で山、海、東京にも負けない福岡の中心街の街並みを眺めることができました。

1日目は福岡県内を観光し、太宰府天満宮、福岡城などを訪れました。また運転の途中、偶然九州大学の伊都キャンパスを訪れました。伊都キャンパスは日本最大の敷地面積を誇るキャンパスの一つでありアメリカのハーバード大学よりも敷地面積が広いそうです。

2日目、3日目は熊本県、山口県を観光しました。山口県下関市では、多くの近代史跡を見学しました。本州と九州を結ぶ関門橋は非常に迫力がありました。

三日間の旅はあっという間に終わり、素晴らしい思い出となりました。日本には素晴らしい観光地がまだまだ沢山あり、最近ではどこに行こうか考えることが日々の日課となっています。



福岡県糸島市の櫻井二見ヶ浦

今回は→ 在宅サービス課 堀田 千寿

権利擁護センターより

講座



- 老いたくの基本知識
5月25日(木) 17時00分から18時30分
場所: 福祉公社1階会議室
- エンディングノート講座
6月9日(金) 13時30分から15時00分
場所: 市民会館第2学習室

相談



- ◆ 法律相談(成年後見関連)
毎月第2火曜日 | 次回: 6月13日 午後 予約制
- ◆ 法律相談(高齢者に係る一般法律相談)
毎月第4水曜日 | 次回: 5月24日 午後 予約制

(問合せ・申込み) 権利擁護センター TEL 0422-27-5070

介護保険サービスを知らう!
「訪問介護」



介護保険制度の「訪問介護」ってどんなサービス?
基礎知識や利用について学びます。

令和5年5月25日(木)
14時00分~15時30分(13時45分受付開始)

場所: 高齢者総合センター 3階講義室

定員: 20名(新規の方優先し申込順)

講師: ホームヘルプセンター武蔵野職員

申込: 事前にお電話にてお申込みください(5月1日~申込開始)

(問合せ・申込み)

高齢者総合センター在宅介護・地域包括支援センター
TEL 0422-51-1974



福祉公社 各部署のご案内



- <ホームページ>
 - ◇ 武蔵野市福祉公社 <https://www.fukushikosha.jp>
 - ◇ 武蔵野市地域包括ケア人材育成センター <https://www.m-machigurumi.jp>
 - ◇ ホームヘルプセンター武蔵野 <https://help-musashino.jp>
- 営業時間 8時30分から17時15分(すべて共通)

武蔵野市福祉公社 本部 武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

- 総務課 ☎ 0422-23-1165
- 権利擁護センター ☎ 0422-27-5070
- 成年後見利用支援センター ☎ 0422-27-1238
- 生活自立支援センター(三鷹サテライト) ☎ 0422-66-2801
- ケアプランセンター ☎ 0422-27-5076
- ホームヘルプセンター武蔵野 ☎ 0422-23-2611
- 地域包括ケア人材育成センター ☎ 0422-20-3741

武蔵野市立北町高齢者センター 武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

- コミュニティケアサロン ☎ 0422-54-5300
- 子育てひろば・みずきっこ ☎ 0422-38-5150

武蔵野市立高齢者総合センター 武蔵野市緑町2-4-1

- 管理・社会活動センター ☎ 0422-51-1975
- 在宅介護・地域包括支援センター ☎ 0422-51-1974
- 住宅改修・福祉用具相談支援センター ☎ 0422-51-1974
- デイサービスセンター ☎ 0422-51-2933

広報委員会 編集後記

私事になりますが去年息子が生まれ、生後約8カ月の5月5日に親族で集まり初節句を行いました。まだ離乳食の最中でお祝いの膳は食べられないのですが、最近ではできることが増え日々成長を感じています。

私も初めての広報委員でわからないことだらけですが、息子に負けず委員と協力し良質な広報誌を皆様に届けられたらと思います。(池田)

福祉公社通信



令和5年

羅針盤

5月

月刊

第122号

ロゴデザイン: 後藤章



公益財団法人 武蔵野市福祉公社

<紙面より>

P1

- 第四期中長期事業計画が始まります
- 新入職員を迎えました!

P2

- 権利擁護課内部研修-小説「護られなかった者たちへ/怒りの利根勝久」から学ぶ生活保護制度
- ケアマネジャーの勉強会-より良いケアマネジメント実践のために

P3

- ウクライナカフェに行ってきました!
- 主役はあなた! 桜コンサート
- より安らげるセンターへ

P4

お知らせ・リレーコラム

第四期中長期事業計画が始まります 総務課

今年度は、第四期中長期事業計画の1年目です。この計画は、コロナ禍から立ち直り、社会の新たな要請にも応え、引き続きご利用者・市民の皆様が「住み慣れたところでいつまでも」生活を継続できるよう、5年間の計画を策定したものです。この計画を踏まえて、令和5年度事業計画を策定しました。

令和5年度事業計画

今年度は、コロナ後の事業のあり方を模索しつつ、イベントの本格的な実施、つながりサポート事業の見直し、新たな広報として「YouTube」や「Instagram」などのSNSの活用などを予定しています。また、懸案となっている高齢者総合センターデイサービスセンターや北町高齢者センターの稼働率向上に取り組みます。

新社屋建設に向けた準備業務の本格化

本部事務所の建て替えが、いよいよ具体的に動き始めました。昨年度検討した現社屋の課題や新社屋で必要となる機能や設備のあり方等を踏まえ、設計事業者の選定、基本設計等を予定しています。単に事務所として機能不足を解消するだけでなく、市民社協とともに、地域共生社会の拠点として新たなランドマークとなるよう、具体的に検討を重ねていきます。

職員の確保と人材育成の充実

福祉業界へ携わる人員を増やすために、微力ながら新卒採用を始めました。研修計画に沿って大事に育てているところです。新たに、奨学金を負担している職員の支援のあり方について検討することで、優秀な人材の採用や離職防止を図ります。

新入職員を迎えました!

4月から新たに6名の職員を迎えました。

【高齢者総合センターデイサービスセンター】
荒田 麻耶、草薙 美穂、市川 智文

【高齢者総合センター管理・社会活動センター】
佐藤 今日子

【ホームヘルプセンター武蔵野】
町田 溪介

【権利擁護センター】
定作(じょうづくり) 智帆



(後列左から)草薙、町田、市川
(前列左から)佐藤、定作、荒田

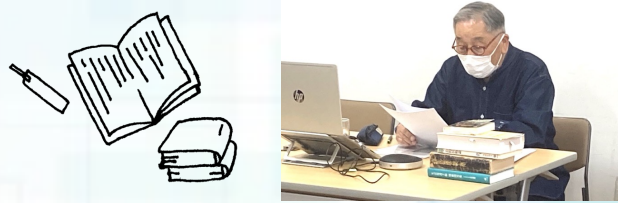
小説「護られなかった者たちへ/怒りの利根勝久」から学ぶ 生活保護制度

令和5年度第1回の権利擁護課研修を実施しました。

講師は福祉公社評議員であり、市の福祉各部署の課長やルーテル学院大学（公的扶助論）講師を歴任された江幡五郎氏です。生活保護、社会保障に関する著作もあり、この分野のオーソリティでもあります。当日は福祉公社職員のみならず、市健康福祉部長や生活福祉課の担当者等、多数が受講しました。

講義は生活保護の歴史を大宝律令から現在まで俯瞰。そこに根強く浸透している「公が憐れみを以て民を救済する」という意識を排し、「生活保護の権利性」を関係者は認識し、「市民の尊厳を確保すべし」と力説する内容でした。申請者と行政との間には制度に対する知識の差は歴然で対等性を欠き、状況によっては弱者の利益が護られない事態も出ています。

市民利益の実現のために尽力する姿勢は、福祉関係者にとって肝に銘ずべき基本であるとの講義から学びました。（服部）



◆『護られなかった者たちへ』
中山七里 著 / NHK出版(2018)
日本の生活保護制度の欠陥に迫る、長編推理小説。
2021年には映画版(監督：瀬々敬久)が公開され、話題を呼んだ。

ウクライナカフェに行ってきました！

在宅介護・地域包括支援センターでは、地域の社会資源の発掘や連携も大事な業務の一環です。職員は日々、新たな社会資源の発掘のためアンテナを立てています。

今回は、高齢者総合センターから徒歩5分のところに2月にオープンしたばかりのウクライナカフェ『KRAIANY(クラヤヌイ)』にお伺いしてきました！

運営するのは、ウクライナの文化を日本に伝えることを目的としたNPO法人日本ウクライナ友好協会。戦火を逃れて渡日された方と日本在住のウクライナ人、ボランティアの皆さんで運営しています。

「ウクライナの人はお料理が大好き！」と堪能な日本語で話してくださったのは、スタッフのナタリアさん。ランチメニューは愛情がたくさん詰まったウクライナのお母さんの自慢の手料理。

お料理だけでなく、文化交流の場としても楽しいイベントを企画・実施しています。当センターでも今後どんな形で協働できるか楽しみです。皆様もぜひ、美味しいウクライナ料理と異文化交流をご体験ください！（小木曾）



笑顔が素敵な美しいスタッフの皆さん

ウクライナ刺繍が美しいインテリア



ピーツの色が美しいボルシチ



ウクライナカフェ「クラヤヌイ」
住所：武蔵野市西久保3-2-5
営業時間：10：00～17：00
*変更の可能性あり
定休日：日曜日/臨時休業あり

主役はあなた！桜コンサート

高齢者総合センターデイサービスセンター

3月の季節の行事として、送迎時、車から花見をしました。午後のプログラムにて開催した『桜カフェ』では、ご利用者・職員参加で、大塚愛さんの『さくらんぼ』をアカペラとボイスパーカッションで合唱しました。

「ドン・ドン・パン！」ダイナミックなパーカッションから始まり、「愛し合う～ふ～たあ～り～♪」ご利用者と谷口職員のきれいなリードボーカル。「プシュー！」最後はセンター長のボイスパーカッションでピタリと決まり！そのハーモニーは、会場全体を巻き込み、笑顔であふれました。（中村）



より心安らげるセンターへ

北町高齢者センター



数十年前の雑誌などが置かれていた本棚は、ご利用者が気軽に取りにいける場所になく、ソファも限られた人数しか座れない状況でした。プログラム以外の時間もゆっくりと過ごしていただけるよう、雑誌等の充実を図り、ご利用者自身で自由に取りに行きやすい場所へ本棚を設置する予定です。

また、昼休み等にゆったり休めるようにソファの数を増やしました。心安らぐ空間を作れるよう、これからも環境を整えていきたいと思っております。（村上）



ケアマネジャーの勉強会

よりよいケアマネジメント実践のために

ケアプランセンター

昨年度に引き続き、特定事業所加算を取得している市内の4事業所と合同勉強会を開催しました。今回は、市高齢者支援課の職員と、福祉公社権利擁護センターの職員を講師として招き「エンディング（終活）支援事業の出前講座」を受講しました。

エンディングノートは、これまでの人生を振り返り、最期まで自分らしい人生を送るためのきっかけや、ご利用者の思いを家族や知人に伝える方法として活用されています。講座では武蔵野市が作成しているエンディングノートをもとに「もしもの時」に備えることの大切さを学びました。ケアマネジャーとして、ご利用者の自分らしい人生を送るための支援ができるよう日々精進してまいります。（室）

